

赤松町

石丸勝

一様

侍史

水二四
柑橘菜
評念予
物所

佐賀具十三日
人



奇跡相違と云ふは、後牙二四齧菜柑桔
 而評左開設之自之費用各五額以上
 何分發起者の子とし且撥之場一益也
 先般日本市内重なる諸氏、其助也
 我々も未嘗て之を思ふは、其の爲に
 之念は、其の意を思ふに開設中言ふ如く
 極め何分其信子に有るを、之を以て
 而も、今より法上を、其の意を、
 其の意を、其の意を、其の意を、
 其の意を、其の意を、其の意を、
 其の意を、其の意を、其の意を、

一月十日

佐賀十三百唐


石丸勝一様

侍中